平成28年3月31日

各 位

会 社 名　　株 式 会 社 ポ プ ラ
代表者名　　代表取締役社長　目黒　真司
（ コード番号 7601 東証第1 部）
問い合せ先　取締役副社長　中間　昭登
（ TEL 082－ 837－ 3510）

平成28年２月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年４月９日に公表しました業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1.　平成28年２月期通期連結業績予想の修正（平成27年３月１日～平成28年２月29日）

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想　（A）	38,291	249	265	106	10.74
今回修正予想　（B）	38,777	82	129	60	6.08
増減額　（B－A）	486	△167	△136	△46	
増減率（%）	1.2	△67.0	△51.3	△43.3	
（ご参考）前期実績（平成27年２月期）	48,764	△945	△925	△1,923	△194.21

2.　平成28年２月期通期個別業績予想の修正（平成27年３月１日～平成28年２月29日）

	営業総収入	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想　（A）	37,488	251	95	9.69
今回修正予想　（B）	37,761	121	57	5.78
増減額　（B－A）	273	△130	△38	
増減率（%）	0.7	△51.7	△40.0	
（ご参考）前期実績（平成27年２月期）	47,911	△935	△1,930	△194.85

3.業績予想修正の理由

当期連結累計期間の業績は、業革の一環として商販改革に継続的に取り組んだ結果、中食マックスシークシステムによる発注仮説力の向上により主力商材のポプ弁が 36 カ月連続で前年比 100%超えを達成しました。また、ドライカテゴリ（中食以外）でも、主力取引先と実施しているマーチャンダイジング検討会ではビッグデーター分析によるマーチャンダイジング施策の立案実施、検証の取り組みを継続的に実施した結果、前年比100%超を達成しました。これらの取り組みにより、当期既存店売上は前年比101.2%と予想を上回る水準で好調に推移いたしました。

しかしながら、平成27年4月9日の決算短信公表時点で2015年9月開始を計画していたドライグロサリーカテゴリのローソン社との共同調達による原価改善効果の発生時期が、平成27年10月1日の第2四半期業績予想の修正時点において11月開始と2カ月程度遅れるものの、通期業績に与える影響は軽微であるとの見通しでしたが、さらなる開発日程の遅れにより、共同調達のスタートが2016年2月開始となりました。このことから一時的に投資費用が先行発生し、上記のように業績予想を下方修正することとなりました。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報より作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以上